

医療費と健康新聞

発行者 菅生中学校
二年一組
木島実穂

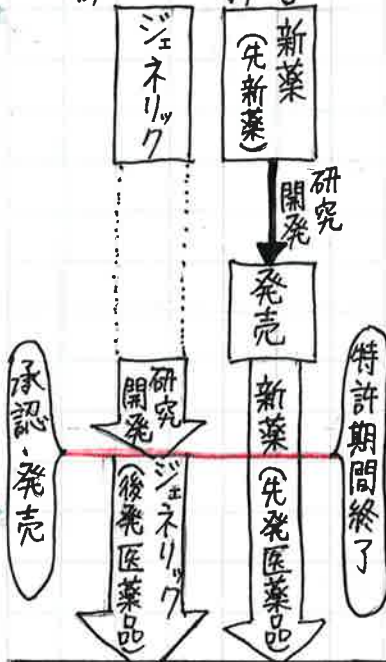
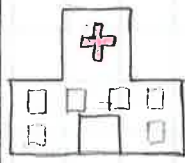
医療費を抑えるには

今、日本では医療費の増加が続いている。このままの状況が続いていくと、私たちの家計負担の増加につながる。医療費を抑えるために私たちにできることを病院のかかり方に注目して三つ紹介する。一つ目はかかりつけ薬局を持つこと。気になることを気軽に相談でき、的確なアドバイスを受けられる。また、必要に応じて他の病院を紹介してもらえ、紹介状なしで大病院を受診

する場合、五千円以上の追加負担が求められる。二つ目は時間外や休日の受診を避けること。このような受診をすると時間外加算を求められる。医療費が高くなる。三つ目は重複受診をなるべく避けること。同じ病気で複数の病院を受診すると、その都度初診料や検査料がかかり金銭的な負担とともに身体的にも負担がかかる。

知っておきたい ジェネリック医薬品について

ジェネリック医薬品とは、厚生労働省の認可を得て製造販売される新薬と同じ有効成分を含む医薬品のこと。新薬より開発費を抑えられるので、低価格で患者の自己負担を軽減でき、医療費を抑えられる。また、新しい技術により、新薬に比べて味や飲みやすさ、使用感が改良されたものもある。



ジェネリック医薬品希望シールをお薬手帳などに貼ったり、カードを使ったりする。また、医師に希望を伝えて相談してジェネリック医薬品に切りかえよう。

日々を健康に過ごすには？

健康に生活することは病気の予防になり、体に良く、医療費を抑えることにもつながる。また、定期的に検査などを受け、病気の早期発見・早期治療を心がけることも医療費を抑えるためにできることだ。そこで身近な人に、健康に生活し、病気を予防、重症化させないために気をつけていることを聞いて見た。

父

定期検診は必ず受けるようにしているよ。また、お酒を飲みすぎないように気をつけているよ。

母

食事をつくるときは栄養バランスに気をつけているね。またなるべく早く寝ることも心がけているよ。後は歯医者などは定期的に行くようにしているよ。

編集後記

医療費を抑えるために、病院のかかり方を工夫したり、ジェネリック医薬品を使ったりなどをしていきたい。私たちがそういうことに取り組むことで少しでも医療費を抑えることが未来の家計負担を減らすために大切だと思った。